

2022/01/31 (月)

朝の礼拝

聖書 コヘレトの言葉 11章 6節 (旧約聖書1047頁)

朝、種を蒔け、夜にも手を休めるな。  
実を結ぶのはあれかこれか  
それとも両方なのか、分からないのだから。

それでも種を蒔く

コヘレトは朝から晩まで種を蒔き続けるように言っています。でも実を結ぶのはあれかこれか分からないと言います。ひょっとするとどれも実を結ばずだめになってしまうかもしれません。どうしてコヘレトは相反する、無駄なことを言うのでしょうか。

この言葉は、宗教改革者ルターの言葉として伝えられている次の言葉とつながります。

たとえ明日、世の終わりが来ようとも、  
今日、私はリンゴの木を植えよう

これも矛盾する、意味のないことのように感じます。実がつくのは何年先かわかりません。木を植えた人自身はその実を食べられるのかもわかりません。しかし、それでも「今日、私はリンゴの木を植えよう」と言っています。

感染症が終息せず、明日も、未来もわかりません。それでも種を蒔き続け、リンゴの木を植えようとは、たとえわたしたちに実が結ばなかったとしても、今日という一日を大切に、喜びと感謝のうちに過ごそうと呼びかけているのです。

しばらく黙祷しましょう。

いつくしみ深い主よ、新しい週を迎えられたことを感謝します。感染症が広がり病院、保育園、公共交通機関などで働く方々に困難が広がっています。またオンライン授業で友だちと会えず寂しい子どもたちがいます。どうか互いに思いやり、励まし合い、今日という一日を大切に歩ませてください。また明日は高校入試です。受験生、教職員、家庭学習をする英和生を祝福してお守りください。今日一日もすべてをあなたに委ね、喜びと感謝のうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン